

山口情報芸術センター [YCAM]

やまぐちアートコミュニケータープログラム

2021年7月～2022年1月

アートの知識や経験がなくても大丈夫！**アートや学びに関するイベントの企画制作のノウハウを身につけよう**

山口情報芸術センター [YCAM] では、「山口ゆめ回廊博覧会2021」の一環として、アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成する長期間のプログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム」を開催します。

このプログラムは、公募で集まった市民を対象に実施するもので、対話型鑑賞やワークショップを始めとしたイベントの企画に関するいくつかの研修から始まり、参加者主体でイベントの制作・実施までをおこなうものです。

研修を通じて、イベントの企画制作に必要な「観る力」「面白がれる力」を習得し、それをもとに2021年10月から館内外で開催される音楽家・坂本龍一の展覧会「ART - ENVIRONMENT - LIFE 2021」において、ツアー形式の鑑賞イベントや、関連ワークショップを企画していきます。

参加者が山口市を舞台に自らイベントを企画し、実施する本プログラムを通じて、イベント制作に必要なさまざまなノウハウはもとより、山口市の史跡や自然とアートを結びつける視点なども身につけるきっかけになるでしょう。この機会にぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



過去に開催した「RADLOCAL2」の様子
(撮影: 萱野孝幸)

山口市の地域コミュニティを、アートを軸に活性化させる



「RADLOCAL」 撮影：大林直行

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。

また並行して、メディア・テクノロジーが持つ可能性を応用して、山口の地域課題の解決や、地域資源の活用につなげる取り組みも模索しており、特に近年は、こうした取り組みを主体的に推進することができる人材の育成に取り組んでいます。メディア・テクノロジーを軸にデザインや経営という観点から地域課題の解決やビジネス創出を実現する人材を育成する「RADLOCAL（ラッドローカル）」や、多様な立場の人々がコミュニケーションを取りながら新しい価値を生み出す「共創」を盛り込んだスポーツイベントに関わる人材を育成する「スポーツ共創人材育成ワークショップ」などはその代表的な事例です。こうした取り組みによって、地域コミュニティの活性化への貢献、それを支えるプラットフォームとしての基盤の強化へと繋がっています。

今回は2021年10月から山口県の県央エリアで開催される「山口ゆめ回廊博覧会2021」の一環として、同時期から山口市内各所で開催する音楽家・坂本龍一の展覧会「ART - ENVIRONMENT - LIFE (アート・エンバイロメント・ライフ) 2021」を題材に、アートや学びに関するイベントの企画制作を行う人材を育成するプログラムを展開します。それが「やまぐちアートコミュニケーションプログラム」です。

■ RADLOCAL

「地域×メディア」をテーマに、幅広い発想力で地域課題、地域発信、公共空間といった問題へ取り組む次世代のプランナーやプロデューサーを育成する集中ワークショップ。2014年と2016年に開催。

その後は、RADLOCAL Practiceとして、館内のレストランスペースを活用した、飲食に関する事業を展開した。

■ スポーツ共創人材育成 ワークショップ



撮影：谷康弘

「スポーツ共創」に関わる人材を育成する合宿形式のイベント。注目を集めるスポーツ共創や周辺分野の専門家を講師に迎え、スポーツ共創イベントの設計手法を学ぶとともに、参加者が自身のコミュニティなどでスポーツ共創を実現するためのアプローチを検討していく。

参加者自らがアートや学びに関するイベントを実施する



展覧会に関連しておこなわれるプログラム「サンカトーク」(撮影:谷康弘)

「やまぐちアートコミュニケータープログラム」は、対話を通して芸術作品を鑑賞する手法「対話型鑑賞」や、ワークショップなどのイベントの企画制作に関する研修を通じて、「観る力」「面白がれる力」を習得し、そこでの経験を元に参加者自らが主体的にイベントの企画、実施までを手がける人材育成プログラムです。

研修

研修では、主に対話型鑑賞の実践に必要なファシリテーションスキルの獲得と、イベントのアイデアをかたちにするステップや事例を学び、2021年10月からYCAMを中心とする山口市内各所で開催する、音楽家・坂本龍一の展覧会「ART – ENVIRONMENT – LIFE 2021」の来場者に向けたイベントの企画を進めていきます。この過程で、「遊び」を切り口に横断的な活動を展開するクリエイティブユニット・Playfool(プレイフール)のレクチャーも開催します。

企画準備・実施

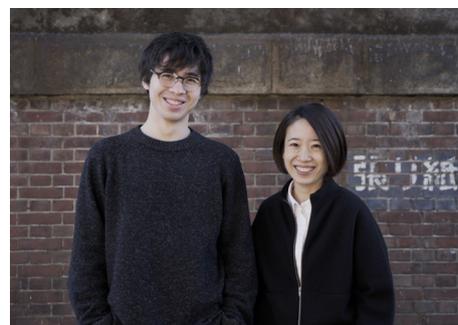
展覧会の会期中に、たとえば山口市の史跡や自然と作品鑑賞を結びつけたガイドツアーや、作品への理解を深めるワークショップといった参加者が企画したイベントを実際に実施していきます。

ただイベントを実施するだけでなく、その後の振り返りなどを通じて、より良いイベントになるよう、スタッフによるフィードバックを行いながら進めていきます。

対話型鑑賞

1990年頃からアメリカのニューヨーク近代美術館(MoMA)で開発された教育プログラム。1つの作品についてグループで話し合いながら、そこででた疑問・意見・感想・解釈などを深めていく。美術作品に対するリテラシー(批評的思考)やコミュニケーション能力を身につける手法としても活用されている。

Playfool



Dan & Saki Copenによるクリエイティブユニット。遊びを通して、創造性を解放することをミッションに、分野横断的に創作活動をおこなう。

開催概要

やまぐちアートコミュニケータープログラム

2021年7月～2022年1月

参加無料（企画実施期間は参加者に賃金をお支払いします）

応募条件

- ・16歳以上
 - ・アート、教育、コミュニケーションに関心がある方（アートの知識や経験は問いません）
 - ・可能な限り、全ての研修に参加できる方
 - ・会期中に1つ以上の企画の実施をお任せできる方
 - ・メール（パソコン、携帯電話のいずれか）による連絡が可能な方
- ※そのほか注意事項はウェブサイトをご確認ください。

スケジュール

説明会

7月2日（金）18:30～20:00

オリエンテーション

7月18日（日）、19日（月）各日10:30～12:00

※どちらか1日にご参加ください

研修

第1回 8月1日（日）、2日（月）14:00～16:00

第2回 8月22日（日）、23日（月）14:00～16:00

第3回 9月5日（日）、6日（月）14:00～16:00

第4回 9月11日（土）14:00～16:00、12日（日）10:00～12:00

第5回 9月18日（土）14:00～16:00、19日（日）10:00～12:00

※第1回から第3回はどちらか1日にご参加ください

※第4回と第5回は2日間通しでご参加ください

企画実施

9月下旬～2022年1月下旬

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：令和3年度 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]、Twelve Inc.

関連イベント

坂本龍一 ART-ENVIRONMENT-LIFE 2021

2021年10月8日（金）～2022年1月30日（日）

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、サテライトA、常栄寺

音楽家の坂本龍一が、アーティストの高谷史郎とのコラボレーションのもと、2013年のYCAM10周年記念祭にYCAMで制作・発表した3作品を展示する展覧会です。

■ 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp

締切：7月15日（木）